



# 全日畜だより

[こちら編集部] (03)-3583-8034

東京都港区麻布台2-2-1麻布台ビル

発行日 2020年2月5日

発行NO 2020 - 29号

## 山口・九州ブロック9県が基金協会理事長会議を山口県で開催

◎1月23日（木）山口・九州ブロックの基金協会理事長会議が山口県で開催されました。

◎会議は幹事県の大分県基金協会の佐藤理事長の進行で開会、中央からは商系3団体（工業会・全日基・全日畜）の幹部も参加して、それぞれの活動状況等を説明しました。話題提供後は基金をめぐる情勢変化等について意見交換しました。



（写真奥正面 左から 工業会高橋専務、工業会岡本会長、大分県佐藤理事長、全日基引地常務）

◎令和元年度は、山口・九州ブロックの他、10月に関東ブロック、11月に東北ブロックでも理事長会議が開催され、3会場で24の都道府県の理事長さんと変化の激しい畜産情勢を踏まえて意見交換ができました。

## JRA事業（スマート畜産事業）の自己評価がスタートしました

◎全日畜は、事業の最終年度を迎えた「スマート畜産調査普及事業」について、1月17日（金）推進委員会を開催し、2年間の事業成果についての自己評価作業を開始しました。

◎各委員からは、タイムリーなテーマへの取り組みを評価する意見が出され、最終的な成果を再度確認して全体を整理することになりました。



（手前：実施状況を説明する事務局、奥：推進委員の皆さん）

## 兵庫県全日畜事務局が移転し事務局長が交代しました

◎この度、兵庫県全日畜は事務局が移転し（従前は工業会関西事務所内）、事務局長が交代（従前は工業会関西事務所長）となりました。

（新体制）

事務局 兵庫県基金協会の事務所内に  
事務局長 中原 良崇 氏（基金協会常務理事に）



（左側：新 中原事務局長、右側：前 一宮事務局長）

（文中での団体の略称標記について）

- ・一般社団法人 全日本畜産経営者協会（全日畜）
- ・一般社団法人 全日本配合飼料価格畜産安定基金（全日基）
- ・協同組合 日本飼料工業会（工業会）
- ・一般社団法人 都道府県配合飼料価格安定基金協会（〇〇県基金協会）

## 九州全日畜が1月24日（金）山口県で「現地研修会」を開催 （九州ブロック基金協会理事長会議の翌日に併催）

### 株式会社 秋川牧園 を研修視察

◎秋川牧園が中心的経営体の「山口ぐりんねっと協議会」における畜産クラスター事業の活用について研修。

◎研修参加者は、秋川 正 社長から会社概要説明を受けた後、①飼料用米タンクと②鶏肉加工施設を見学。

◎4年前に建設した飼料用米タンクは、東北の飼料用米の先駆者からアドバイスを受けて建設した国産の鉄板サイロ。域内の20戸の耕種農家と連携し120haの作付けが目標。（写真上、2基の飼料用米タンク）

◎タマゴからスターした秋川牧園も今では鶏肉が生産の中心に。安心、安全な信頼ある健康な食べ物づくりが実り、消費者への直宅販売も好調。（写真下、安心安全にこだわる清潔な加工現場）



### 株式会社 出雲ファーム を研修視察

◎出雲ファームが中心的経営体の「山口北部地域畜産クラスター協議会」における畜産クラスター事業の活用について研修。

◎研修参加者は、中尾 哲也 社長から出雲ファームの会社概要の説明を受けた後、①GPセンターと②徳地とりたまの里（直売店）を見学。

（写真上、畜産クラスター事業を有効活用した年度別施設整備計画を説明する中尾社長）

◎計画的な施設整備で順調に飼養羽数が増加、基盤整備の進捗に加えて地域の飼料用米農家との耕畜連携による地域農業の収益向上や高付加価値商品の販路拡大等を目指している。

（写真下、研修生は入念な防疫チェックを受けて、社長でもなかなか入室できないGPセンター内を視察）



（文中での団体の略称標記について）

- ・一般社団法人 全日本畜産経営者協会（全日畜）
- ・協同組合 日本飼料工業会（工業会）

- ・一般社団法人 全日本配合飼料価格畜産安定基金（全日基）
- ・一般社団法人 都道府県配合飼料価格安定基金協会（〇〇県基金協会）